

# 取扱説明書

## モナロウ スノーチェーン(自動車タイヤ用)

このたびは、スノーチェーン(自動車タイヤ用)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

### 1. 安全にご使用いただくために

#### ⚠ 危険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が切迫して想定される内容をしめしています。

#### ⚠ 警告

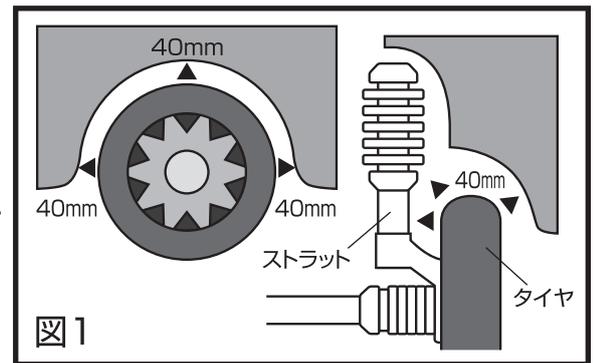
この表示を無視して、誤った使い方をした場合は、死亡や重症等の重大な障害に結びつく可能性があります。

#### ⚠ 注意

この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、人的障害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

#### ⚠ 危険

- 本製品は乗用車専用です(ただしミニバンは車両重量1.8トン未満)。貨物自動車全般やトラック(1BOXバン含む)には絶対に使用しないでください。無理に使用するとチェーンの磨耗が早くなります。
- 本製品の修理や改造は大変危険ですので、絶対にしないでください。
- 装着前に本製品に変形や破損など無いか確認してください。万が一本製品上に欠陥が見つかった場合はただちにご使用を止め、弊社お客様窓口へご連絡ください。
- 走行中にチェーンが車体と接触し破損や事故などを起こすおそれがあるため、タイヤと車体の間隔が40mm未満の場合は絶対に使用しないでください(図1参照)。また純正サイズ以外のタイヤやホイールを装着している、またはローダウン車などの場合は特に注意してください。合わせて、前輪に装着する場合、ハンドルを左右に切ってタイヤが進行方向に対し真っ直ぐでない状態でも、絶対に確認してください。
- 坂道などの地面に傾きがある場所、または路肩などでは絶対に作業をしないでください。事故の原因となり大変危険です。
- 違う種類のチェーンや片輪のみの装着はしないでください。走行中に制御不能となり事故を引き起こすおそれがあり大変危険です。
- チェーンは必ず駆動輪に取付けてください。前輪駆動車は前輪に、後輪駆動車は後輪に装着し、4輪駆動車や駆動輪がご不明な場合は、車両本体の取扱説明書をご確認ください。
- 装着が不完全な状態で走行すると、チェーンや車両の破損や事故などを引き起こすおそれがあります。確実に装着されていることをしっかり確認の後、走行してください。
- 雪道以外では使用しないでください。チェーンが破損しやすくなる他、車両の走行性能が極端に低下し事故などを引き起こすおそれがあり大変危険です。雪が無い道路になったら、出来るだけ早くチェーンを外してください。また、舗装されていない道路(段差、砂利道、縁石など)での使用はしないでください。
- 時速40km以上で走行は、絶対にしないでください。チェーンが遠心力で膨らみ、車体に接触するおそれがあり、また耐久性を低下させ事故に繋がるおそれがあります。また、スピードを出しすぎると車両の安定性が失われ、事故に繋がるおそれがあり大変危険です。路面状況によってはそれ以下に減速して走行してください。
- 急発進(空転を含む)、急加速、急ハンドル、急制動などの操作をするとチェーンが車体へ接触したり、チェーンの破損原因となり事故などに繋がるおそれがあります。やむを得ずこの様な運転を行った場合や走行中に異音が発生した場合は、必ず安全な場所に停車してチェーンの状態を確認してください。
- 雪道ではチェーンを装着していても走行性能が大幅に低下しますので、必ず安全運転を心がけてください。
- 誤った装着方法や使用方法による事故や損傷などには一切責任を負いません。
- 本来の用途以外での使用は絶対にしないでください。



#### ⚠ 警告

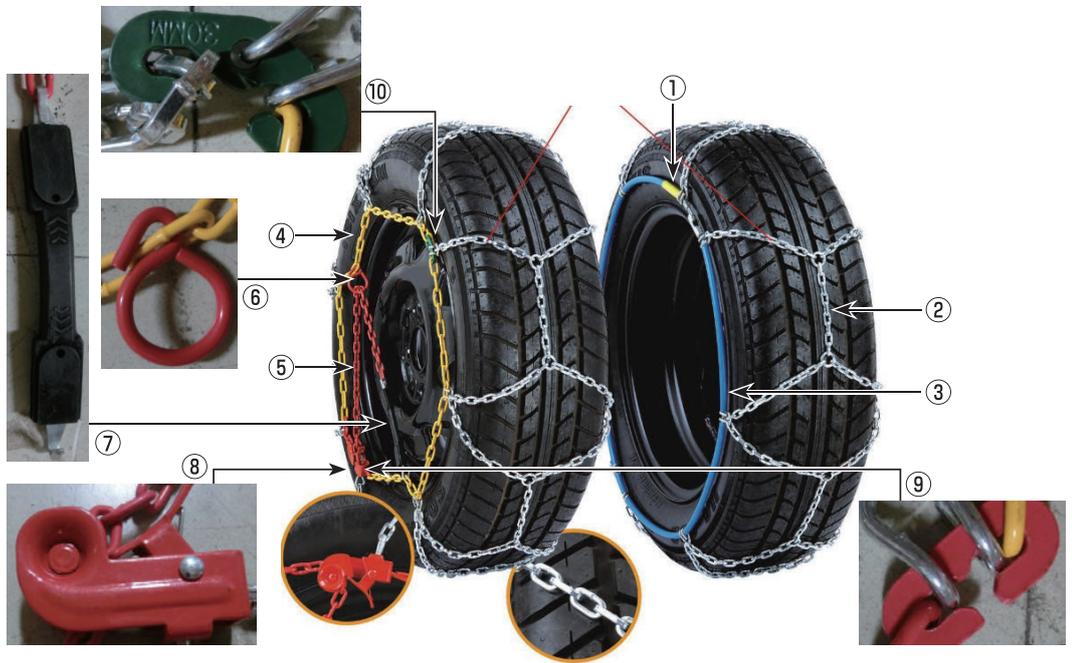
- 本製品は夏タイヤのみにご使用になれます。必ずタイヤに適合したサイズをご使用ください。タイヤサイズが適合していても、タイヤの空気圧、磨耗量、ホイールのリム幅などによって多少異なることがあります。また、スタッドレスタイヤは本製品が使用出来ない場合があります。
- 本製品を使用するとタイヤ表面の変形、削れなどが起きる場合があります。特に著しくタイヤの溝が減っている車両には使用しないでください。
- 雪道脱出道具との併用はチェーンの破損や車体への損傷を引き起こすおそれがありますので、絶対にしないでください。
- チェーンは消耗品です。毎回ご使用の際に必ず破損の有無や磨耗状況を確認してください。1カ所でも破損があったり、磨耗量が50%程度になれば使用しないでください。
- この取扱説明書は大切に保管の上、ご使用中に分からなくなった時など、必要な際に都度お読み返してください。

#### ⚠ 注意

- 本製品の使用により、タイヤ、ホイール、ホイールカバーをキズ付ける場合があります。ホイールカバーは取外してご使用ください。

## 2.部品名称

①	ケーブルジョイント(黄)
②	クロスチェーン
③	青色ケーブル
④	サイドチェーン(黄)
⑤	赤色チェーン
⑥	S形フック(赤)
⑦	プラスチックフック(黒)
⑧	チェーン結束用ジョイント(赤)
⑨	E形コネクター(赤)
⑩	M形コネクター(緑)

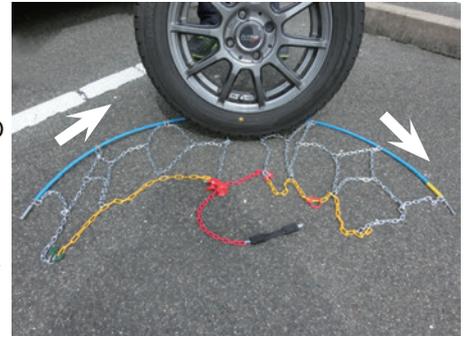


## 3.装着方法

①  
チェーンを広げ、破損や変形、またねじれや絡みがないかどうか確認してください。ねじれや絡みがあれば、手で直してください。



②  
青色ケーブルのジョイントを開き、黄色のパイプを先にしてタイヤの下部左側からタイヤの裏側に通し、青色ケーブルが左右均等になるように通してください。このとき、チェーンが絡んでいる場合は、必ず直してください。



③  
青色ケーブルのジョイント部分の両側を持ち、広げながらチェーンを持ち上げ、タイヤの上側手前で繫げます。この時、左右のジョイント金具が確実に結合されて抜けがないか確認してください。万が一緩い場合は、再度繫げ直してください。



④  
クロスチェーンを手前にして、左側のM形コネクター(緑)とサイドチェーン(黄色のチェーン)を結合させます。



⑤  
青色ケーブルをタイヤの裏側側面までずらします。その際に、ずらした位置が均一になる様に整えてください。



⑥  
青色ケーブルがタイヤ接地面にかからないように調整してください。かかった状態での使用は事故または商品の破損の原因となり大変危険です。



### 悪い例



⑦

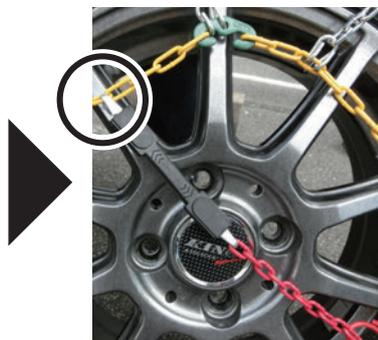
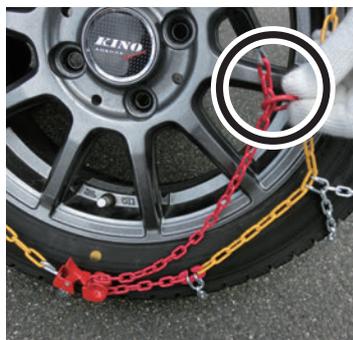
赤色チェーンをチェーン結束用ジョイントにかけて引っ張り、十分に締め付けてください。

このとき、必ず赤色チェーンを持って締め付けてください。



⑧

赤色チェーンをS形フック(赤)に通し、引っ張ったままで折り返しそのままプラスチックフック(黒)を対角線上のサイドチェーン(黄色のチェーン)に掛けてください。このとき、必ずチェーンを引っ張って緩みがないかどうか確認してください。



完成



⑨

通常

プラスチックフック(黒)を掛けたサイドチェーン(黄色のチェーン)に弛みがある際は、右図の様にM形コネクター(緑)に掛けるチェーンの位置で多少の調整が可能です。

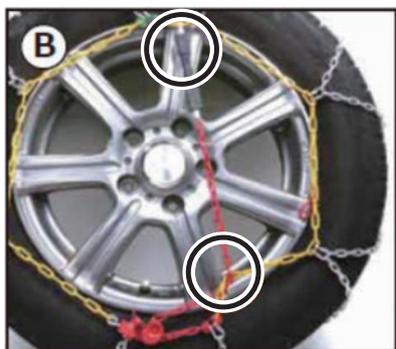


調整例



## 4. リードチェーンの調整方法

### リードチェーン(赤)が短い場合



リードチェーン(赤)が短い場合は、サイドチェーン(黄)にかけてからカギフックの先をサイドチェーンにかけてください。(B)

### リードチェーン(赤)が長い場合



リードチェーン(赤)が長い場合は、リング(赤)に通してからサイドチェーン(黄)にかけ、カギフックの先をサイドチェーンにかけてください。(C)

## 5. 装着後の確認

①

ゆっくりと100メートル程度走行し、チェーンが問題なく装着されているか確認してください。チェーンに弛みがある場合、弛みが無くなるまで締め付けてください。

②

締め付け後、チェーン結束用ジョイントが赤色チェーンの付け根部分いっぱいまで締まっている場合、チェーンがタイヤに対して緩い場合があります。その場合は使用をやめてください。チェーンが緩い状態での走行は、車両やチェーンの損傷、事故の原因となり大変危険です。

③

チェーン全体にねじれや絡みが無いか十分確認してください。

### 悪い例



チェーンねじれ。



チェーン結束用ジョイントが接地面にかかっている。



スライドギアがリードチェーン(赤)の付け根部分いっぱいまで締まっている。

## 6. 取外し手順

①

チェーン結束用ジョイントがタイヤ接地面付近になるように調整し停車してください。



②

赤色チェーン先端のプラスチックフックを外し、その後にS形フック(赤)とチェーン結束用ジョイントからも外します。



③

チェーンをタイヤの手前方向にずらしながら、青色ケーブルのジョイントを外し、M形コネクター(緑)とサイドチェーン(黄色のチェーン)を外して青色ケーブルを左右に開きながらおろします。



④

青色ケーブルを地面に対して平らになる様におろした後、チェーンがタイヤに踏まれていなければそのまま抜き取ってください。チェーンが踏まれていれば、各コネクター、フックなどを踏まないように注意しながらゆっくりと車両を移動させてください。



## 7. 付属品

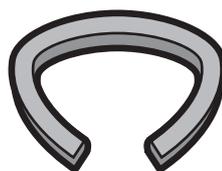
商品には補修のための、クロスチェーン用リングとサイドチェーン用リングが各2個付属されています。万が一、走行中にチェーンが切れた場合、一時的に補修リングで結合してください。結合方法は切れたリングの両端を補修リングで結び、ペンチやプライヤーなどでしっかりと締め付けてください。

### ⚠ 警告

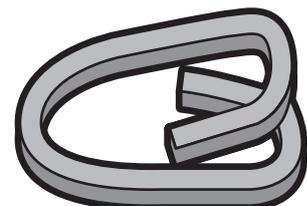
※締め付けが弱いと走行中に外れる可能性があり、大変危険です。

※補修リングはあくまでも一時的な応急処置の使用です。

継続使用は事故につながるおそれがあり大変危険ですので、お早めに新しいチェーンをお買い求めください。



クロスチェーン用リング



サイドチェーン用リング

## 8. 問題と処置

症状	原因	参考
うまく取付けられない!	チェーンのねじれ	ねじれ、絡みをなくす
	チェーンの接地面のずれ	3.装着方法の⑤と⑥を再度確認
	青色ケーブルのずらした位置が不均など	3.装着方法の⑤と⑥を再度確認
	タイヤサイズと使用チェーンが不適合	再度適合サイズ確認
走行中に接触音が発生!	走行スピードが40km/時速以上	40km/時速以下で走行
	タイヤと車体との隙間が不十分	間隔が40mm以上であるか再度確認
	チェーンの弛み	3.装着方法の⑧を再度確認
	ホイールカバーが付いたまま使用	ホイールカバーを外して再度装着
	タイヤサイズと使用チェーンが不適合	再度適合サイズ確認